



南越前町(河野地区)が舞台となった

時のおと

公開
予定



作品紹介

「時のおと」は、福井の方言を起点に、暮らいや自然の中で耳にする「音」をテーマに制作され、南越前町、福井市、小浜市、鯖江市、勝山市の県内5市町を舞台に4つの話が展開されます。撮影は、約一年間、四季を巡りながらその街に暮らす人々の姿と音が綴られています。

—県内出身の監督・キャストが送る—

映画は、鯖江市出身の映画監督 片山 享

氏により手掛けられています。

出演者は、舞台となった市町に在住している方が多数を占め、重要な役どころを演じています。南越前町編では、千馬 龍平さん(河野)と千馬さんのご家族、友人が出演しています。

また、東京で活躍している役者6名がキャスティングされ、うち4名が県内出身者で「福井の街の音を知っている、またはかつて福井で音を奏でていた」方々が出演し、福井のリアリティ溢れる映画となっています。

インタビュー

12月15日(月)、撮影地となった南越前町河野地区で、片山監督、出演した千馬さん、俳優の柳谷一成さんに撮影当時を振り返っていただきながら、この映画への思いや魅力を伺いました。

—片山監督が伝えたかったこと—
一番伝えたかったことは「継承」です。南越

前町編でも昔から続く方言(音)、波の音、船のエンジン音など、街の音は、これまで継承され、またこれからも継承されていくことを伝え

たかったです。

—南越前町で撮影を終えて—

南越前町編の撮影は、令和3年10・11月、令和4年4月の期間中に計7日間にわたって行いました。千馬さんに主役を演じていただき、漁師としての格好良さ、家族愛をそのまま映し出すことができました。他の市町でも撮影を行いましたが、南越前町が一番インパクトあるロケ地となりました。

—千馬さんが思ったこと—

映画出演の話をいただいたとき、「任せとけ！」と意気込みました。ただ、最初は「役を作らないといけない」と構えてしましましたが、

に素の自分を出すことができました。この映画により、南越前町に限らず福井県が盛り上がりほしいと思います。ぜひ楽しんで観てください。



インタビューに答える(写真中央)千馬さん、(写真左)俳優の柳谷さん、(写真右)片山監督



片山監督

監督から最後に

南越前町をはじめ、自分も子どもの頃から知る県内の場所が作品になり、こんなに嬉しく思ふことはありません。同郷の人間が作った映画をぜひご覧いただけ、福井の気付けなかった「音」を再確認することで、暮らしの幸せを感じただけると嬉しいです。



河野地区での撮影カット



公式 X



公式 Instagram



予告編 YouTube

1月31日(土)～ ポレポレ東中野
2月28日(土)～ 福井メトロ劇場
(福井市順化1-2-14)
TEL 0776-22-1772
※上映時間・スケジュールなどは劇場へお問い合わせください。

公開
予定